けん玉ながいカップ 2027

公式ルールブック

競技運営：けん玉のふる里プロジェクト実行委員会

― 予選競技 ―

【予選競技ルール】

・3分間の制限時間内に、ご自身で選択した最大5つの技に挑戦し、それを2回行います。
※1回目と2回目はそれぞれ違う技を選択してください。
・各回、5つの技の中で挑戦する順序は自由とします。
・各回、使えるけん玉は1つとし、各回の途中で変更することは不可とします。(2回目は、1回目と異なるけん玉を使用することができます。)

・各回、制限時間内に成功した技のレベルに応じた点数を獲得できます。
制限時間内に技を完了してください。予選競技に「ブザービート」はありません。

【得点申請】

競技が終了後、集計場所まで申請書を提出してください。

【予選時の最大得点】

初回75点、二回目70点で2回合計で最大得点は145点となります。

【ジャッジ】

グループ内での**相互ジャッジ**にて予選競技を進行します。
・指定するグループ(1組3～4名)に分かれ、MCの進行に合わせて、順番に予選を実施します。
・待機中は同じグループの選手が行う競技のジャッジ並びに記録をお願いします。

―　決勝競技への進出者について　―

【決勝進出者】

・予選結果上位者 9 名、長井市民上位者 1 名の合計 10 名を決勝進出者とします。
※1：予選結果で同点の選手が現れ、上位者が 10 名以上になった場合は、選んだ技のレベルの二乗の合計点が高い方を決勝進出者とします。
※2：※1 でも決まらない場合は、決定戦を行います。
　決定戦は、該当のタイ順位選手が 1 名ずつステージに上がり、それぞれの予選得点に算入した技すべてのフルマークラダー（スコアシートの順番通り）を行い、達成タイム順に上位とします。決定戦ではスキップは使用できません。

・特別枠（ワイルドカード）：決勝進出者 10 名の内、1 名は長井市枠とし、予選で最上位の長井市の方が、長井市枠に入ります。
※予選結果で既に上位 10 名に入っている場合は、長井市枠は無しとします。

― 決勝競技 ―

【決勝競技ルール】

・競技方式は**フルマークラダー方式**（最大 15 種目）とし、ステージ上で１名ずつ実施します。

・競技時間は３分間で、競技する技は、レベル 5～１５とします。

・ブザービートの扱いは以下とします。
　制限時間終了直前に開始した技の継続中に終了ブザーが鳴った場合、その技については継続を認め、成功した場合には得点を認めます。失敗した場合は、その時点で終了になります。

・決勝競技の順番は、予選得点が低い選手からスタートします。

・使えるけん玉は１つとし、競技途中で変更することは不可とします。（糸が切れる等の使用不可の状態になった場合は、そこまでの得点が最終得点とします。）

【フルマークラダー方式と得点について】

●基本ルール
・プレーヤー自身で選択した技を順番に挑戦し、フルマーク（全部成功）を目指します。
※決勝を目標にしている参加者は、**「決勝予定オーダーシート」**を記入し、当日の受付の際にご提出ください。提出後は変更できません。提出の締め切りは休憩前までとなります。
※決勝予定オーダーシートはスパイク HP よりダウンロードください。

●得点について
・成功した技のレベルを二乗した数を得点とし、合計点を算出します。
例）レベル５成功⇒２５点
　　レベル１０成功⇒１００点

●スキップについて
・フルマークラダーへの挑戦中、指定の技を飛ばすこと（＝スキップ）を可能とします。
※スキップを使う場合は意思表示をしてください。（「スキップ」と叫ぶなど）

※スキップした技の得点は加算されません。（減点はありません）
※間違って技を飛ばしてしまった場合もスキップ扱いとなりますが、途中で気づき、飛ばした技から改めて順番に再挑戦することは可能です。
※技を残し、時間切れとなった場合は、残りの技はスキップ適用とし、得点にはなりません。

●決勝競技得点の算出例

最終順位は、予選競技得点と決勝競技得点の合算を持って決定します。

決勝競技の得点算出方法は以下のとおりとなります。
例）申請した技のレベルの順が、3⇒6⇒8⇒9⇒10⇒11⇒12 とします。

①3⇒6⇒8⇒9⇒10⇒11⇒12　と申請した技すべて成功させた場合、決勝競技得点は、
9＋36＋64＋81＋100＋121＋144＝555 点となります。

②3⇒6（スキップ）⇒8⇒9⇒10⇒11⇒12（時間切れ）の場合。決勝競技得点は、
9＋0（加算なし）＋64＋81＋100＋121＋144＝519 点となります。

●ビデオ判定について

バランス技の際に、けん玉が手や衣服に触れていることが分かった場合、その技は「失敗」と判断し、なおかつ決勝得点から **100 点**を減点します。
ビデオ判定は 3 分間の競技終了後、審判がその必要性を判断した場合に実施します。

―　表彰について　―

決勝進出者 10 名、及び以下の 4 部門を設け、得点順に上位 3 名までを表彰する。

部門 1：9 歳以下
部門 2：10～20 代
部門 3：30～50 代
部門 4：60 歳以上

―　長井市長杯について　―

長井市長杯受賞者は、長井市民の内、予選・決勝の最終順位が最も上位の者とします。

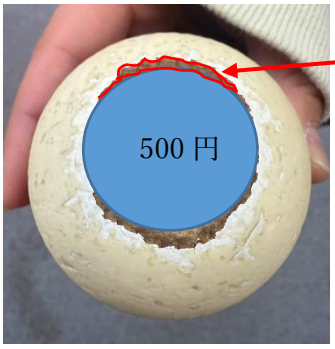
― 使用けん玉について ―

●使用けん玉の最大寸法は以下とします。
　けんの高さ：170mm
　玉の穴の直径：26.5mm（500 円玉サイズです）

・「玉」の穴は上から見て、検査用コインが完全に穴を塞ぐものとします。
　少しでも穴がはみ出している場合は使用不可となります。



穴の縁とは、玉の表面と内側にくぼみだしているところの境とする



はみ出ているため使用不可

・「玉」の穴は１つとします。（糸穴を除く）
・けん玉の皿は、３つとします。
・紐の長さを変えるのは可とします。（競技の途中でも可）
・けん玉に取り外し可能なアタッチメント（付属物）の使用は認められません。
・けん玉への磁石及び磁性塗料の使用は禁止とします。

※「取り外し可能なアタッチメント」については、３分間の競技中に取り外しや交換をして、“１つのけん玉で競技を行う”という主旨から逸脱することを防ぐためのものであり、ネジで強固に固定されているもの、埋め込みされているもので競技中に取り外さない場合には、使用に問題はございません。（技によって重りや粘着物を着脱することを防ぐためのルールです。）
※けん玉のメンテナンスに留意し、競技中に糸が切れる等使用不可の状態にならないようにご注意ください。競技途中でのけん玉の変更は認められません。

●けん玉の持ち込み本数について
　最大３本までとします。

※受付時にけん玉チェックがあり、最大３本まで検査シールを貼ります。
また、決勝進出者は決勝競技前にもチェックします（予選と異なるけん玉使用可）